

那須塩原市

第35号

平成23年5月20日発行

栃木県那須塩原市
議会だより編集委員会
議会事務局
TEL0287-62-7181

議会だより

3月定例会のあらまし 2

各議員の議案に対する賛否の状況 6

福祉教育常任委員会行政視察報告、請願・陳情の提出のしかた 7

平成23年度当初予算の概要 8

ここが聞きたい！ ～会派代表質問&市政一般質問～ 10

議会日誌 19

3月 平成23年第1回 定例会

3月4日～3月23日

全37案件

すべて原案のとおり可決

― 定例会のあらまし ―

平成23年第1回那須塩原市議会定例会は、3月4日から3月23日までの20日間にわたり開催されました。市長からは、「人権擁護委員の候補者の推薦」「固定資産評価審査委員の選任」「那須塩原市副市長の選任」の人事案件4件のほか、平成22年度補正予算案件6件、平成23年度当初予算案件11件、条例の制定・廃止及び一部改正案件7件、報告案件6件、その他の案件3件の合計37件が提出されました。平成23年度当初予算案件や条例案件等については、各常任委員会で集中審査を行い、本会議における審議の結果、すべての案件について原案のとおり可決しました。

市長提出案件

人事案件

■人権擁護委員の候補者の推薦について

人権擁護委員の清水儀夫氏が、平成23年6月30日をもって任期満了となることから、同氏を引き続き候補者として推薦することに同意を求めます。

■那須塩原市教育委員会委員の任命について

教育委員会委員の神島仁誓氏が、平成23年3月23日をもって任期満了となることから、同氏を再任することに同意を求めます。

■那須塩原市固定資産評価審査委員会委員の選任について

固定資産評価審査委員3名が平成23年3月13日をもって任期満了となることから肥塚澄江氏を再任し、退任する小川親男氏と郡司啓一郎氏の後任として、根本義夫氏と櫻岡定男

氏を新たに選任することに同意を求めます。

■那須塩原市副市長の選任について

平成23年3月31日をもって退任する君島寛副市長の後任として、増田徹氏を新たに選任することに同意を求めます。

補正予算

■平成22年度那須塩原市一般会計補正予算(第5号)

国の補正予算に伴う対応で、「安全・安心な学校づくり交付金」事業等を活用して稲村小学校教室棟改築工事、「地域活性化・住民生活に光をそぐ交付金」事業の追加で、中学校図書館の図書購入費を追加補正するもの、また減債基金への積み立てや新庁舎整備基金の積み増し等、及び年度末を控え各種事務事業費の決定等に伴う事業費の過不足調整を行うもので、予算総額を411億333万8千円とするものです。

討論

高久 好一議員(反対)

災害時の避難場所となる学校や公

民館等の耐震化を進めるべき。不要不急の新庁舎基金を積み増し計上するもので反対する。

菊地 弘明議員（賛成）

既存事業の充実を図ると共に後年度の財政健全化のための予算措置であり、市民の安全・安心なくらしを守る施策の実行と認め賛成する。

■平成22年度那須塩原市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

― 全員賛成 ―

年度末を控え、経費の確定や確定見込みによる予算の整理を行うもので、予算総額を125億8953万4千円とするものです。

■平成22年度那須塩原市下水道事業特別会計補正予算（第3号）

― 全員賛成 ―

年度末を控え、事業費の確定に伴う過不足調整等を行うもので、予算総額を30億92万3千円とするものです。

■平成22年度那須塩原市土地画整理事業特別会計補正予算（第1号）

― 全員賛成 ―

事業収入の減額分を繰入金で調整するもので、予算総額の変更はありません。

■平成22年度那須塩原市温泉事業特別会計補正予算（第3号）

― 全員賛成 ―

年度末を控え、決算を見込んだ事業費の過不足調整を行うもので、予算総額を1億9101万2千円とするものです。

■平成22年度那須塩原市水道事業会計補正予算（第2号）

― 全員賛成 ―

・ 収益的収入 他会計補助金や業務委託料の額の確定に伴うもので、予定額を24億9610万9千円とするものです。

・ 収益的支出 業務委託料や薬品費、賃借料の額の確定に伴うもので、予定額を22億8696万8千円とするものです。

・ 資本的収入 事業費や負担金、一般会計補助金の額の確定に伴うもので、予定額を8億6307万円とするものです。

・ 資本的支出 業務委託料や工事費、負担金の額の確定に伴うもので、予定額を20億5281万円とするものです。

当初予算

■平成23年度那須塩原市一般会計予算

― 賛成多数 ―

平成23年度の事務事業推進のキーワードを「安心・活力」とし、行政の原点である市民が「安心」できるまちづくり、経済不況の中であつても市民が「活力」を維持し、拡大できるまちづくりを進めるための事業を計上するなど、変革の時代に対応する市政運営を目指した編成で、予算総額を403億円とするものです。

討論

高久 好一議員（反対）

新庁舎建設は「市民アンケートで8割が慎重に」。積み立てる2億と基金全額を取り崩し、災害に備え学校等の耐震工事を優先すべきである。相馬 義一議員（賛成）

社会保障費が大きく増加する中、市債発行を抑制し、経費節減、予算の効果的配分と効率的執行に努める予算編成であり本案に賛成する。

■平成23年度那須塩原市国民健康保険特別会計予算

― 賛成多数 ―

医療費の増加傾向の中、平成21年度の決算、及び平成22年度の医療給付状況等进行分析した編成で、予算総額を122億3288万5千円とする

るものです。

討論

早乙女順子議員（反対）

低所得者の負担軽減とならない等、1億8000万円をつぎ込んで行う意味が見いだせない税率改正を前提に組んだ予算には反対する。

高久 好一議員（賛成）

資格証、短期証の発行が多く、収納率が低いなど多くの問題を抱えるが、保険税の引き下げは市民の要求に答えるものであり賛成する。

■平成23年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計予算

― 賛成多数 ―

後期高齢者医療保険料の徴収と窓口事務等に関する編成で、予算総額を7億370万9千円とするものです。

討論

高久 好一議員（反対）

高齢者いじめの医療制度を、老人保健制度に戻し、差別医療と負担増が続く、無慈悲な医療制度は一刻も早い廃止を求める。

眞壁 俊郎議員（賛成）

後期高齢者医療制度は新たな制度について論議されている。この予算は保険料の徴収と窓口事務等のため計上するもので賛成する。

■平成23年度那須塩原市介護保険特別会計予算
―賛成多数―

第4期介護保険事業計画の最終年度にあたり、計画の着実な実現に向けて、円滑で安定した事業運営を行うための編成で、予算総額を59億6215万5千円とするものです。

【討論】

高久 好一議員（反対）

保険料は年金天引きでも介護認定は厳しく、利用できるサービスや量は制限され、要介護者の入所待機者も多く健康が守れない。

東泉富士夫議員（賛成）

医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスが切れ目なく提供できるような、計画策定を目指していることに期待し賛成する。

■平成23年度那須塩原市下水道事業特別会計予算
―全員賛成―

総合計画に基づく実施計画に計上された事業を重点的に実施し、市街地の生活環境の向上と公共用水域の水質保全を目指した編成で、予算総額を27億9424万円1千円とするものです。

■平成23年度那須塩原市農業集落排水事業特別会計予算
―全員賛成―

通年の維持管理費を主とした編成で、予算総額を9473万6千円と

するものです。

■平成23年度那須塩原市土地区画整理事業特別会計予算
―全員賛成―

保留地の処分及び平成16年度から平成19年度までに借り入れた起債の償還を主とした編成で、予算総額を1億6736万5千円とするものです。

■平成23年度那須塩原市公共用地先行取得事業特別会計予算
―全員賛成―

平成13年度に取得した保健福祉施設用地及び平成14年度に取得した市道用地の償還元金と利子の支払いのための編成で、予算総額を2262万円とするものです。

■平成23年度那須塩原市温泉事業特別会計予算
―全員賛成―

総合計画に基づく実施計画に計上された施設整備工事等の実施を主とした編成で、予算総額を1億6320万1千円とするものです。

■平成23年度那須塩原市墓地事業特別会計予算
―全員賛成―

市営墓地の適正管理を行うための編成で、予算総額を1487万4千円とするものです。

■平成23年度那須塩原市水道事業会計予算
―全員賛成―

安心安全な水の安定供給を持続するため、引き続き老朽管の更新や配水管の整備事業、危機管理対策事業等の事業を進めるとともに、更なる経営の安定化を図るための編成です。収益的収入及び支出では、収入を24億3884万1千円、支出を23億5129万8千円とし、資本的収入及び支出では、収入を9億3275万6千円、支出を19億7599万1千円とするものです。

条例案件

■那須塩原市税条例の一部改正について
―全員賛成―

税収の早期確保と自主納税の意識向上を目的に導入されている前納報奨金制度について、県内市町及び全国的な状況を踏まえ見直しを行い、前納報奨金の交付率、交付限度額を引き下げるため改正するものです。

■那須塩原市国民健康保険税条例の一部改正について
―賛成多数―

後期高齢者医療制度による国民健康保険財政運営への影響や、平成25年度末までの歳入歳出についての検証を行った結果に基づき国民健康保

険税の税率を引き下げするため改正するものです。

【討論】

早乙女順子議員（反対）

資産のある高所得者にはメリットがあるが、資産の無い低所得者には負担軽減にならない。福祉的視点で抜本的な見直しをすべき。

高久 好一議員（賛成）

高くて払いきれない国保税の所得割と資産割を下げ、1世帯平均9300円の引き下げは厳しい家計を励ますことになり賛成する。

■那須塩原市図書館条例の一部改正について
―賛成多数―

図書館の開館日数の増加や開館時間の延長等に加えて、施設の管理運営を指定管理者に行わせることができるようにするなど、市民の利便性向上を図ることを目的に改正するものです。

【討論】

高久 好一議員（反対）

格差社会のなか、なじまないと思われる民間委託で「図書館の質」を落とさず「市民への知的サービスの無料提供」が遂行できるとは思えない。

岡本 真芳議員（賛成）

市民の知恵袋である図書館が、今後益々サービスが向上し、利用者が増えていくことを期待し賛成する。

その他の案件

■那須塩原市健康長寿センター条例の一部改正について | 全員賛成 |

多様化する住民のニーズに 대응するとともに、より効果的・効率的な施設の管理運営を行うため、指定管理者を導入することができるよう改正するものです。

■那須塩原市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について | 全員賛成 |

廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部が改正されたことに伴い、不適切に処理された廃棄物を発見したときの土地所有者等の通報努力義務を規定するため改正するものです。

■那須塩原市塩原温泉家族旅行村条例の一部改正について | 全員賛成 |

那須塩原市観光施設維持管理計画に基づき、キャンプ広場を廃止し、交流促進センターを毎年12月1日から翌年の3月31日まで休業とするため改正するものです。

■那須塩原市奥塩原オートキャンプ場条例の廃止について | 全員賛成 |

那須塩原市観光施設維持管理計画に基づき、奥塩原オートキャンプ場を廃止するものです。

■財産の無償譲渡について | 全員賛成 |

市立ゆたか保育園を平成23年4月1日付けで社会福祉法人あけぼの共育会に移管することに伴い、保育園の建物を無償で譲渡するものです。

■那須塩原市から大田原公共下水道への区域外流入について | 全員賛成 |

下永田地区の土地所有者より、住宅の建設に当たり、那須塩原市と大田原市の行政界にある大田原市道107号線内に整備されている大田原市の公共下水道を利用したい旨の要望があり、地方自治法の規定により大田原市との協議が必要であることから議決を求めるものです。

■市道路線の認定及び廃止について | 全員賛成 |

道路法の規定に基づき25路線を認定し1路線を廃止するものです。この結果、市道路線数は2459路線となります。

【委員会録】配信中!

各常任委員会の会議録を配信しています。

付託議案に対する常任委員会内での審査内容をぜひご覧ください。

<http://www.city.nasushiobara.lg.jp>

| ご利用が便利 | 文字を大きく | English | モバイル版 | サイトマップ | サイト内検索 |

ホーム

観光・歴史



那須塩原市

人と自然がふれあうやさしさのまち

ホーム > 那須塩原市議会 > 議会会議録 > 委員会録

▶ 委員会録

関連情報をクリックすると内容をご覧いただくことができます。
(ファイルはPDF形式です。)

関連情報

- ① 平成23年3月委員会会議録
- ② 平成22年12月委員会会議録

平成23年第1回那須塩原市議会

各議員の議案に対する賛否の状況

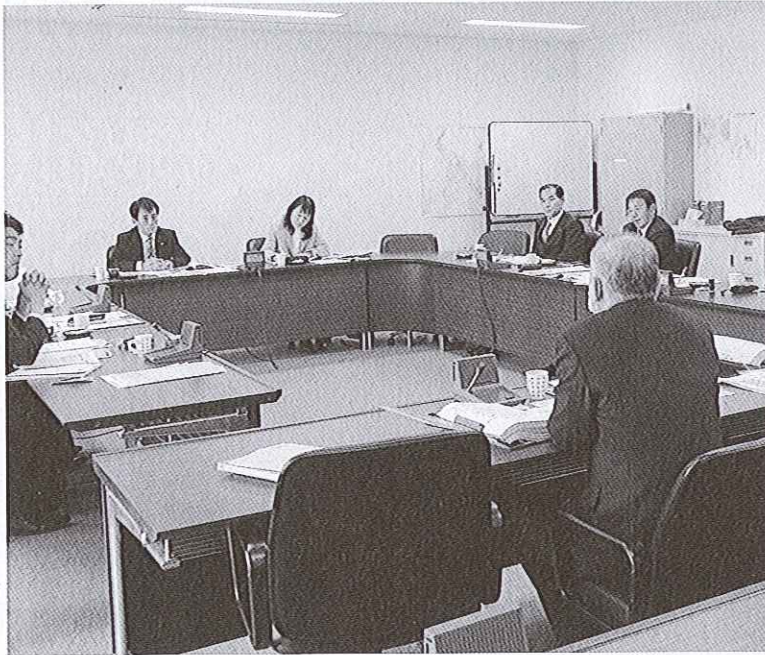
・賛否の分かれた案件のみ記載しています。そのほかの案件は全員賛成で可決されました。

議員名	櫻田 貴久	鈴木 伸彦	松田 寛人	大野 恭男	平山 武	伊藤 豊美	磯飛 清	岡本 真芳	鈴木 紀	高久 好一	眞壁 俊郎	岡部 瑞穂	齋藤 寿一	中村 芳隆	人見 菊一	早乙女 順子	植木 弘行	関谷 暢之	平山 啓子	木下 幸英	室井 俊吾	山本 はるひ	東泉 富士夫	相馬 義一	吉成 伸一	玉野 宏	菊地 弘明	若松 東征	
議案第1号 平成22年度那須塩原市一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号 平成23年度那須塩原市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	不
議案第8号 平成23年度那須塩原市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	不
議案第9号 平成23年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	不
議案第10号 平成23年度那須塩原市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	不
議案第19号 那須塩原市国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	不
議案第20号 那須塩原市図書館条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	欠	○	×	○	○	○	○	○	不

【○】は賛成 【×】は反対 【欠】は欠席 【不】は不在席 (議長) 君島 一郎

平成22年度 福祉教育常任委員会行政視察

福祉教育常任委員会（山本はるひ委員長）は、平成23年1月17日～19日の日程で、沖縄県うるま市、恩納村を訪問しました。
うるま市では「子育て支援基金の運営」「学校適正配置基本計画」、恩納村では「市民の生涯学習資源としての独立行政法人」について視察を行いました。



沖縄県うるま市

◆福祉教育常任委員会の行政視察報告書は閲覧することができます。
詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

那須塩原市議会事務局 ☎0287(62)7181

請願・陳情の提出のしかた

市民の皆さんの意見・要望等について、市議会へ請願及び陳情を提出する制度があります。
請願・陳情はいつでも受け付けております。当市議会では、年4回（3・6・9・12月）の定例会が開催されており、開会の10日前までに提出されたものが、その定例会で審議されます。
詳しくは議会事務局までお問い合わせください。（☎0287-62-7181）

【請願・陳情は、次の要領で提出してください。】

- ◎あて先（那須塩原市議会議長あて）、提出年月日、及び趣旨・理由等を簡潔に書いてください。
- ◎住所・氏名をはっきり書いて、必ず押印してください。
- ◎請願を提出する場合は、様式に従って紹介議員（那須塩原市議会議員）の記名押印が必要となっています。
- ◎請願・陳情者が多数のときは、代表者を決めてください。

※受理されたものは、関係する委員会（総務企画・福祉教育・産業環境・建設水道）で審査をいたしますので、他種類にわたる場合は、別々の請願・陳情として提出してください。

※必要により図面（その他資料）を添付してください。

請願（陳情）内容
（趣旨、理由を書いてください。）

平成 年 月 日

那須塩原市議会議長あて

〇〇に関する請願（陳情）

紹介議員 ④

（陳情の場合、紹介議員は必要ありません。）

請願（陳情）者

住所

氏名 ④ 他 名



平成23年度
当初予算

総額
624億円の当初予算可決

自主財源確保に最大限の努力を払い

経費のムダ・ゼロに取り組む！

予算編成のキーワードは
「安心・活力」

那須塩原市の財政状況は、円高傾向や原油の再高騰、欧米経済の先行き不安感など、依然として続く経済不況により、引き続き厳しい環境にあります。しかしながら、景気対策などによりわずかではありますが回復基調を見せ始めております。

このような状況の中、平成23年度予算の歳入では、市税収入を一昨年度の決算額程度の伸びと見込み、予算編成を行っております。また、歳出では、特に市民が安心できるまちづくり、長引く経済不況の中でも市民が活力を維持し、さらに拡大できるまちづくりを進めるため、安心事業として、子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種助成、ファミリーサポートセンターの開設、市民参加による防災訓練などを策定し、

活力事業では、市単独での地域経済活性化対策事業などを計上し、変革の時代に対応する市政運営を目指しております。また、合併時の約束ごとである市庁舎の整備については、財源確保の観点から、総合計画後期基本計画の最終年度となる平成28年度を想定したうえで、新庁舎整備基金の積み増しを行ってまいります。財政運営にあたりましては、保健・医療・福祉などの社会保障費が大きく増加しておりますが、健全な財政を維持するために、市債発行を抑制しつつ、一層の自主財源の確保に努めながら、「集中行財政改革プラン」の着実な実施、経費のムダ・ゼロ、予算の効果的配分と効率的執行に引き続き努めてまいります。平成23年度は、那須塩原市総合計画前期計画の最終年度であり、後期計画へ向けた中長期的なまちづくりを進めてまいります。

対前年比5.0%増

当初予算は403億円

一般会計

● 平成23年度の主要事業



その他の主要事業

- 小学校耐震改修事業 7,500万円
- 中学校耐震改修事業 1,016万4,000円
- 社会資本整備総合交付金事業 (5路線) 5億1,175万6,000円
・板室油井線、埼玉鳥野目線、洞島青木線、新南下中野線、東那須野金田線
- 地域再生基盤強化交付金事業 (5路線) 2億5,024万4,000円
・西富山東関根線、黒磯西岩崎線、関谷横林線、上豊浦一分水線、東三島512号線
- 稲村公民館建設事業 1億2,426万1,000円

「人と自然がふれあうやすらぎのまち那須塩原」
 那須塩原市総合計画前期計画から後期計画への節目
 「つなげる市の未来へ！」

平成23年度 各会計の当初予算

(単位：千円)

会計名	23年度 当初予算	22年度 当初予算	比較	対前年度 伸び率(%)		
一般会計	40,300,000	38,380,000	1,920,000	5.0		
特別会計	国民健康保険	12,232,885	11,959,878	273,007	2.3	
	老人保健		7,945	▲7,945	▲100.0	
	後期高齢者医療	703,709	769,172	▲65,463	▲8.5	
	介護保険	5,962,155	5,638,343	323,812	5.7	
	下水道事業	2,794,241	2,998,710	▲204,469	▲6.8	
	農業集落排水事業	94,736	96,051	▲1,315	▲1.4	
	土地区画整理事業	167,365	167,363	2	0.0	
	公共用地先行取得事業	22,620	22,856	▲236	▲1.0	
	温泉事業	163,201	193,036	▲29,835	▲15.5	
	墓地事業	14,874	28,456	▲13,582	▲47.7	
合計	62,455,786	60,261,810	2,193,976	3.6		
企業会計	収益的収支	収入	2,438,841	2,496,876	▲58,035	▲2.3
		支出	2,351,298	2,325,214	26,084	1.1
	資本的収支	収入	932,756	933,484	▲728	▲0.1
		支出	1,975,991	2,171,331	▲195,340	▲9.0

予算編成の基本的な考え方を踏まえ策定した平成23年度の一般会計予算と9の特別会計予算を合わせた当初予算総額が62億4,557万8千円と決まりました。

このうち、一般会計当初予算は、平成22年度当初予算と比較して率で5.0%、金額で19億2千万円増の403億円となります。増額の主な要因として、景気の一部持ち直しによる個人所得の増、収納率の向上及び市内企業の業績回復を見込んだこと、平成27年度からの普通交付税の合併算定替通減を見据え、臨時財政対策債の発行を抑制したことなどがあげられます。

平成23年度の事業は、行政の原点である市民が安心できるまちづくり、経済不況の中であっても市民が活力を維持し拡大できるまちづくりを進めるために計上したものです。安心事業では、子宮頸がん・ヒブ・小児肺炎球菌ワクチン接種費の助成、ファミリーサポートセンターの開設、市民参加による防災訓練などがあげられます。また、活力事業では、市内事業者の受注機会を拡大する目的で、比較的小規模な工事や営繕など、「市単独の経済活性化対策事業」として約250事業、2億5千万円強の予算が計上されています。

ここが
聞きたい!

● 会派代表質問に3会派、市政一般質問に12議員

3月7日から11日までの日程で会派代表質問、及び市政一般質問が行われました。
それぞれの議員が様々な課題に対して活発な質問を行いました。
質問内容の一部を要約して掲載します。

3月7日

- ①敬清会【相馬 義一 議員】…………… 11
(1)平成23年度の主要事業について (2)新庁舎整備について (3)組織機構について
- ②那須塩原21【中村 芳隆 議員】…………… 11
(1)平成23年度市政運営方針の基本方針について (2)平成23年度市政運営方針の主要事業について
(3)平成23年度市政運営方針の予算編成について
- ③公明クラブ【吉成 伸一 議員】…………… 12
(1)平成23年度市政運営方針について (2)「子ども手当」について
(3)「自殺防止対策」と「うつ病対策」について (4)児童虐待防止について (5)食育について

3月8日

- ①若松 東征 議員 …………… 13
(1)ゴミ資源物の収集について (2)災害時対策について (3)学校教育について
- ②磯飛 清 議員 …………… 13
(1)これからの地方行政に求められる近隣市町との事業連携について
(2)広域連携による地域医療の推進について
(3)公共交通機関の整備と近隣市町との連携について (4)近隣市町と連携による道路の整備について
- ③山本はるひ 議員 …………… 14
(1)黒磯駅周辺整備事業について (2)市の予算で行っている講演会について
(3)市の広報とその周知について
- ④高久 好一 議員 …………… 14
(1)地域経済の活性化について (2)国保行政について (3)子ども医療費助成の拡充について
(4)教育行政について (5)「ゆ〜バス」と乗り合いタクシーを組み合わせた公共交通網の拡充を

3月9日

- ⑤鈴木 伸彦 議員 …………… 15
(1)当市の成長戦略として、四区町、大貫を通る都市計画道路3・3・3号線の早期開通と企業誘致について
(2)赤田工業団地内の中間処理施設からの各種許可申請について
(3)国民健康保険税の問題と今後の方針について (4)防犯灯のLED化について
- ⑥菊地 弘明 議員 …………… 15
(1)観光行政について (2)空き店舗対策について (3)教育行政について
- ⑦眞壁 俊郎 議員 …………… 16
(1)市政運営方針について (2)平成23年度予算編成について
(3)新規学卒未就職者就労支援事業について (4)地球温暖化対策実行計画について
- ⑧齋藤 寿一 議員 …………… 16
(1)市職員の交通安全管理について (2)外国語授業の導入について (3)武道必修授業について
(4)観光PRIについて (5)もみじの植栽について

3月11日

- ⑨櫻田 貴久 議員 …………… 17
(1)職員のマンパワーを最大限に活かす人事制度について (2)JR黒磯駅周辺の活性化について
(3)ご当地グルメを通じた地域活性化について
- ⑩早乙女順子 議員 …………… 17
(1)平成23年度市政運営方針について
(2)那須塩原市情報公開条例が産業廃棄物処理施設立地規制方針に与える影響について
(3)分権時代にふさわしい「開かれた行政」「開かれた議会」、二元代表制の首長(執行機関)と議会について
- ⑪東泉富士夫 議員 …………… 18
(1)道路拡幅と下水道整備について (2)丁字路の交差点改良について
- ⑫岡本 真芳 議員 …………… 18
(1)通学路整備について (2)市営駐車場運営について (3)塩原温泉における観光行政について

各議員の質問した内容を録画映像で配信しています。市議会ホームページをぜひご覧ください。

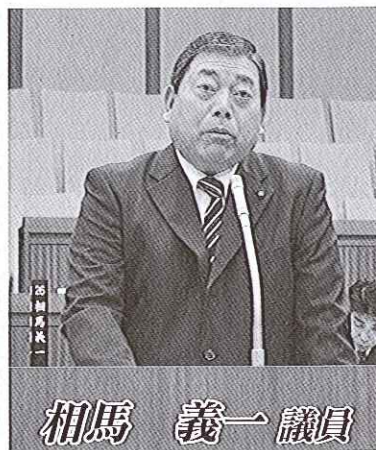
※ 各議員の掲載内容は、質問した議員自らが項目・問答の内容を選定しています。

会派代表質問&市政一般質問

事務事業推進キーワード「安心・活力」に基づく

平成23年度市政基本方針について

平成23年度の主要事業



相馬 義一 議員

問 平成23年度の主要事業
産廃処理施設の立地を規制する
方策への取り組みは。

答 市長 市内に産廃処理施設立地
規制方策検討委員会を立ち上げ、
土地利用に関する方策、水源保護に
関する方策、産廃処理施設設置の手
続に関する方策の3つについて検討
を行ってきたが、今後は議会と調整
しながら具現化に取り組みたい。

問 児童福祉充実の詳細は。

答 市長 延長保育11園、一時預か
り8園、支援児保育・子育て相
談は、22全園で実施することになっ
た。また、児童クラブ施設について
は、整備計画に基づき順次施設整備
を実施している。

新庁舎整備

問 新庁舎整備について、市の考え
は。

答 市長 総合計画後期基本計画へ
盛り込み、議会、市民と相談を
しながら検討していきたい。

公民館の活用

問 15公民館の今後の活用について、
市の考えは。

答 市長 住民サービスの最前線と
なる重要な施設と認識しており
公民館を含む行政サービスのあり方
について今後検討していきたい。

1-会派代表質問(敬清会)

問 ファミリーサポートセンターの
詳細は。

答 市長 育児の援助を行いたい者
と援助を受けたい者から成る会
員組織を本年10月に開設し、会員登録
などの準備期間を経て、12月から
の活動開始を予定している。

問 活力事業である地域経済活性化
対策事業とは。

答 市長 道路の舗装修繕や比較的
小規模な工事や営繕など、事業
数で256事業、事業費で2億53
57万円を計上し、広く市内中小業
者の受注機会拡大を図るものである。
平成23年度の予算編成

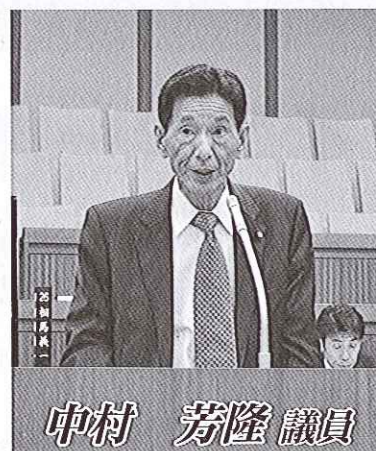
問 本年度一般会計当初予算におい
て、前年度比5%増の予算編成
を行った根拠は。

答 総務部長 景気の一部持ち直し
に伴う法人収益、個人所得の増
を見込み計上したものである。

地域の景気浮揚策の一助と期待

那須塩原市版地域経済活性化事業

平成23年度予算編成
予算編成の基本的な考え方は。



中村 芳隆 議員

問 市長 本市単独の経済活性化対
策事業の選定、事業の優先順位
の精査による効率的な実施、セーフ
ティネットの予算づけ、継続事業の
精査や事務事業評価による検証、市
単独補助金の見直し結果を踏襲した
予算計上など、経済動向や社会情勢
の変化に対応し、市民の安心・活力
に結びつける予算編成を行った。

問 中長期財政計画策定の進捗状況
と提示時期は。

答 市長 現在、平成23年度当初予
算案をベースに策定中であり、
本年度中に提示したい。

問 西那須野清掃センター解体事業
の内容は。

答 市長 平成23年度解体工事に係
る調査と設計を行い、平成24年
度工事着手する予定である。財源は
解体基金と一般財源で対応する。

問 新庁舎整備の基金積み立ての年
度別計画及び事業の進め方は。

答 市長 平成23年度当初予算によ
り基金の積立額は10億円となり
今後は毎年2億円から3億円程度積
み立てを行う。総合計画後期計画に
盛り込み、議会、市民と相談しなが
ら検討していきたい。

問 新規学卒未就職者就労支援事業
の詳細は。

答 市長 市の臨時職員として雇用
し、社会人としての基礎的な能
力の習得を支援するものである。

問 自主防災組織の結成状況並びに
促進支援策は。

答 市長 本年2月末現在において
合計38カ所である。支援策とし
て、結成必要経費3万円以内、資機
材整備費30万円以内、運営費年2万
円以内の補助金交付を行う。
活力を創生するまちづくり

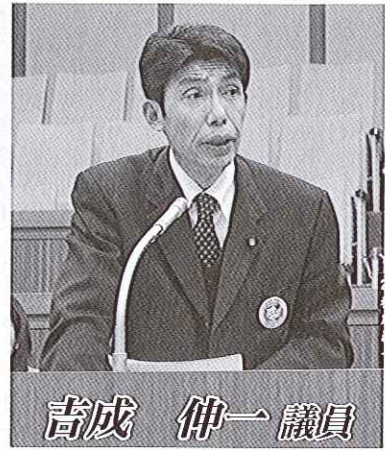
問 新規学卒未就職者就労支援事業
の詳細は。

答 市長 市の臨時職員として雇用
し、社会人としての基礎的な能
力の習得を支援するものである。

2-会派代表質問(那須塩原21)

三万人を越える自殺者の四割がうつ病

認知行動療法の導入のため講演会開催を



吉成 伸一 議員

デマンドタクシーの検討を

問 ゆうバス運行と今後の公共交通システムのあり方は。また、デマンドタクシー等の検討は。

答 市長 本年度、公共交通庁内研究会を設置し、本市の実情に合った持続可能な公共交通システム研究を、ゆうバスの見直しとあわせて開始した。

CSP導入で児童虐待防止を

問 児童虐待防止のため、米国で開発された保護者向け訓練プログラム(CSP)が成果を上げている。評価と導入の考えは。

答 市長 教師や保育士等を対象に虐待防止プログラムの研修会、保護者対象にペアレントトレーニングを行い、CSP同様の効果をもたらしており、今後の課題としたい。

問 食育をまちづくりのテーマに掲げる自治体がある。宇都宮市は、全小中学校で「弁当の日」設けているが、本市は検討しているのか。

答 市長 市食育推進計画に掲げる具体的事業や進捗状況を精査し、平成24年度以降の取り組みに反映したい。

答 教育部長 「弁当の日」の提案だが、今後研究したい。

問 自殺予防の取り組みは。また、うつ病治療の一つである認知行動療法の効果と近隣病院の状況は。

答 市長 専門カウンセラーによるこころの相談を毎月2回実施することとした。また、市民を対象に、自殺防止対策講演会を開催した。認知行動療法は、解釈や理解の仕方を修正する認知療法と、行動を修正する行動療法を統合した療法で、短期間で効果が認められるものとされているが、現在のところ、那須地域で実施している医療機関はない。

推進委員育成で減量化促進を

問 ごみ減量・資源化推進と、ごみ減量推進委員育成について伺う。

答 市長 広報やホームページを活用し市民意識の高揚を図り、ごみ発生抑制と減量・資源化を進める。また、説明会や研修会によりごみ減量推進委員の育成に努めていきたい。

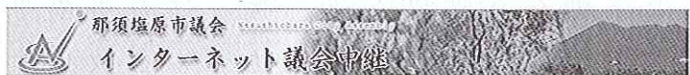
INFORMATION

インターネット生中継配信中!

本会議の様様(生中継)をホームページでご覧いただくことができます。録画映像も配信しておりますので、ぜひご利用ください。

※この議会中継は那須塩原市の公式記録ではありません。公式記録は会議録でご確認ください。

※アクセスが集中した場合や、ご使用になるパソコンの性能・利用環境によっては、正常にご覧いただけない場合がありますので、あらかじめご了承ください。



<p>生中継</p> <p>■ 本会議の生中継をご覧いただけます。</p> <p>生中継を見る</p>	<p>録画映像</p> <p>■ 過去の議会映像をご覧いただけます。</p> <p>議会名から選ぶ</p> <p>議員名から選ぶ</p> <p>会派名から選ぶ</p> <p>用語で検索する</p>
--	---



※この議会中継は、那須塩原市議会の公式記録ではありません。公式記録は会議録でご確認ください。

※映像をご覧になるには、Microsoft社のWindows Media Player(無償)が必要です。お持ちでない方はMicrosoft社のホームページから入手し、インストールしてください。



※本システムは、のり第一・第二水準の文字で構成されています。そのため人名や地名など、会議録等と一部異なる場合があります。

※議会中継を多数の方が同時にご覧になった際に、映像がうまく表示されない場合があります。

使用済み家電製品からの再利用

ごみ資源化の収集について



若松 東征 議員

問 ボランテニア袋を活用している団体及び活動の内容は。

答 生活環境部長 平成23年1月末現在でボランテニアグループや企業、学校、自治会など24団体であり、主に公園や道路清掃活動に協力をいただいている。

問 粗大ごみに含まれる希少金属、電気機器などの分解回収はどのように行っているか。

答 生活環境部長 粗大ごみ及び電気機器は、リサイクルセンターにおいて破碎処理をした後に、鉄とアルミを回収、電気機器はコード類を回収している。希少金属の回収を目的とした分解回収は現時点では行っていない。

問 災害時に市民を守るシステム作り及び一般市民への緊急情報の伝達方法は。

答 市長 平成22年3月に策定された災害時要援護者対応マニュアルに基づき、支援が必要な市民の要援護者台帳登録を進めている。その台帳を活用し情報の伝達や非難誘導等を行っていききたい。また、火災、土砂災害情報等について、携帯及びパソコンへのメール配信サービスである「みるメール」というシステムを運用している。

1-市政一般質問

問 市民がクリーンセンターへ直接搬入するごみの量と手数料は。

答 生活環境部長 平成21年度は、可燃ごみ506t、242万100円、不燃ごみ55t、36万2500円、粗大ごみ468t、469万7900円、平成22年度は、平成23年1月末で、可燃ごみ552t、275万7300円、不燃ごみ65t、40万4900円、粗大ごみ476t、478万7400円である。

問 ごみ減量推進委員の活動状況と推進委員の人数は。

答 生活環境部長 ごみの減量や資源化率の向上を図るため、地域のリーダーとして、資源物や可燃ごみ、不燃ごみ等の分別方法やボランテニア袋の使用方法、ステーションの管理に対する利用者への周知、指導である。平成22年度のごみ減量推進員の人数は243人である。

2-市政一般質問

高齢者・学生など交通弱者支援対策を

「ゆ〜バス」未配備地域の公共交通について



磯飛 清 議員

問 「地域公共交通会議」は未配備地域の交通ニーズを捉えるメンバー構成になっているか。

答 生活環境部長 利用者代表5名のうち未配備地域からは、西那須野地区1名、黒磯地区1名が委員となっている。

問 野崎工業団地周辺道路整備整備に当たり、栃木県や大田原市との連携体制の状況は。

答 建設部長 県庁担当課・県大田原土木事務所・大田原市・本市で「(仮称)野崎駅周辺道路整備検討会議」を設立した。

問 県道下石上・西那須野線と市道たて道線との二区町交差点の改良事業の状況は。

答 建設部長 駐停車禁止ゾーンの設置を実施し、一定の効果が見られたが、成果が不十分であることから引き続き交差点改良等について検討に着手したと聞いている。

問 たて道線の二区町交差点から野崎工業団地に通じる市道二区町・緑線の道路改良事業の取り組み状況は。

答 建設部長 交差点の改良事業と関連することから、道路整備検討会議の結果を踏まえて、事業に取り組みたいと考えている。

問 高齢者や学生など交通弱者と云われる人々の移動の際の「足」の確保は重要な課題であり、さらに突き進んだ公共交通の整備の必要性が求められている。「ゆ〜バス」以外の外出支援の交通施策、種類は。

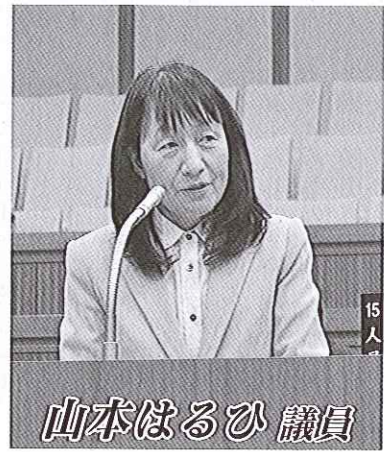
答 生活環境部長 公共交通資源として、高齢者外出支援タクシー・身体障害者福祉タクシー・健康長寿センターバス・小中学校スクールバスがある。

問 「ゆ〜バス」が運行されている地域はJR線の北側に集中しているが、未配備地域である南側の今後の整備計画は。

答 生活環境部長 地域の実情に合った公共交通網の拡充、持続可能な公共交通システムの構築を目的に現在、「片内検討チーム」や「地域公共交通会議」で研究中である。

黒磯駅周辺整備計画について

生の声を取り入れた計画立案を求める



山本はるひ 議員

あった。従来から市民の協力を得て実施している。目的や運営形態が違うので、予算を合わせて実施することは難しい。

市の広報とその周知、ホームページの活用について

「広報なすしおばら」の配布は行政連絡員だけでは市民に迅速に届かない。周知方法はどうかというのか。

企画部長 行政連絡員の配布以外に42か所に配置し、希望者には郵送している。また、ホームページにも掲載し周知を図っている。自治会未加入地域やアパートでは、代表者が受け取りに来るところもある。

ホームページの掲載は各課任せだが、企画情報課で整理してから掲載しているのか。ホームページから情報を得ている人の割合は把握しているのか、アンケート項目に入れて欲しい。

企画部長 企画情報課が内容を一元管理するのは難しい。今後情報システム担当者会議で、古い情報の削除や、見やすいページ作成のための共通認識を深めたい。ホームページから情報を得ている人については把握しておらず、「市民施策満足度アンケート」内容を検討したい。

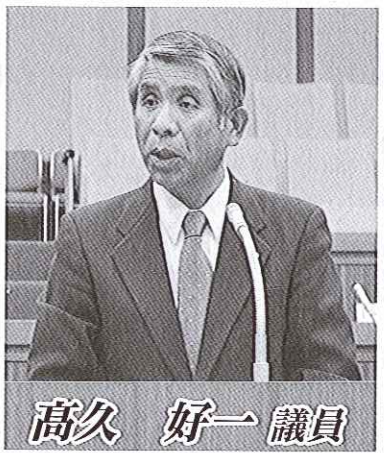
市長 2月23日から始まった、「黒磯駅前活性化のための懇談会」で、課題について意見交換をしていく予定になっている。基本方針は4つで、国庫補助の導入、周辺道路と駅西口臨時駐車場との一体的な整備、3つの都市計画道路の整備の見直し検討、そして地元と商店街の意向に十分配慮した計画を進めたい。計画策定期間は平成23年度から3年間で、予算は2千万円、東西連絡橋のバリアフリー化も検討したい。

市の行う講演会は、各課の予算を合わせ、年度当初に計画し市民の協力を得て実施してはどうか。

企画部長 平成22年度の11の講演会では、4322名の参加があり、費用は433万9311円

見えない地域経済の回復、求められる活性化

小規模・小額工事の計画的発注は



高久 好一 議員

地域経済の回復が見えてこない中、小規模・小額工事の計画的な発注を行う考えはあるのか。

市長 小額・小規模工事は緊急性や維持・修繕等が多いため計画的な発注は難しいが、積極的な活用を図りたい。

現在、商工会は「住宅リフォーム事業所」の紹介事業を行っているが、市民が市内の事業者が発注した場合、費用の一部を市が助成する「住宅リフォーム助成制度」を創設する考えはあるのか。

市長 市では、昭和56年以前の木造住宅の改修費の一部補助を行い、今年度は市内業者の受注機会の拡大を図る「那須塩原市版地域活性化事業」を予定しており、「住宅リフォーム助成制度」を創設する考えは現在のところない。

国保行政

県内の市や町に比べ、異常に高い当市の短期証や資格証の発行数を減らす考えはあるのか。

保健福祉部長 税の公平性の確保、収納率の改善を図ることから今後も現行どおり発行を継続する。市は栃木県で初めて本格的に国保税の引き下げを行うが、市民に与える影響と市の考えは。

保健福祉部長 豊かな財政ではないが、収支のバランスが良くなっているという中で、引き下げは市民に理解を得られると考える。

子ども医療の拡充

子ども医療費無料化を拡大する市や町が急速に広まっている。当市の子どもの医療対象を中学3年生まで拡大する考えはあるのか。

保健福祉部長 市では平成22年度に小学6年生まで拡大し、独自の取り組みとして現物給付を未就学児まで拡大した。中学生までの拡大は今のところ考えていない。

昨年までに県内27市町のうち20市町の74%が無料化された。当市で中学3年生まで無料化に必要な予算は。

保健福祉部長 あくまでも試算だが、総額的には2千万円程度が見込まれている。

都市計画道路3・3・3号線の早期開通は



鈴木 伸彦 議員

2期計画を阻止する具体的方策は。

問 社会保障費の拡大、雇用の減少、少子化による学校統廃合など深刻な問題解決を図る戦略として、四区町、大貫を通る都市計画道路3・3・3号線の早期開通の見通しと、沿線への企業誘致の効果は。

答 建設部長 黒磯那須北区間の那珂川渡河部、島方・上厚崎区間の順に整備を県に要望している。四区町、大貫区間の整備予定はない。一般的には、都市計画道路が整備されれば、商業施設等の進出により一定の経済効果はあると思われる。

中間処理施設操業時間延長

問 赤田工業団地内の中間処理施設の操業時間延長に関する許可申請に対し、建築基準法第51条の許可権者であり、全国産廃問題市町村連絡会の会長である市長の考えは。また、本市の都市計画審議会へ付議しなかつた理由、そして大気観測等や

2期計画を阻止する具体的方策は。市長 法に沿って慎重に検討し、判断した結果である。全国産廃問題市町村連絡会会長であることへ付議しなかつたのは、県都市計画審議会との二重審議となるためである。大気観測等は事業所との協議が必要であり、今後調整をしていきたい。2期計画を阻止する方策は、反対の意見書を県からの意見照会の回答として提出している。

防犯灯のLED化

問 製品寿命が長いLED（発光ダイオード）を防犯灯に利用できないか。環境と維持管理上のメリットに加え、本市には補助金を出している蛍光灯が7242本あり、私の試算ではLED化により約15年間で2億円の経済効果が期待できる。

答 生活環境部長 LED化のメリットは、寿命が長く、消費電力が少ないため、二酸化炭素の削減や省エネの面がある。デメリットは、価格が下がってきているが、まだ蛍光灯に比べ高価であり、全体に照らすことができず、また、品質にばらつきがある面である。価格や品質面で充実が図れるかが推進上の課題である。財政面の部分も含め、今後十分検証し、研究していきたい。

黒磯駅前商店街の活性化を図れないか



菊地 弘明 議員

問 空き店舗解消のためどのような施策を考えているか。

答 産業環境部長 中小企業融資事業拡大など、さらに使いやすいくるべく話し合いながら商店街活性化の取り組みを支援したい。大阪府枚方市のNPO法人「ふれあいネットひらかた」では、商店街の空き店舗を使って、小学生対象の料理教室を開くなどしている。空き店舗活用への考えは。

問 塩原温泉観光協会のガイド組織にどんな支援をするのか。

答 市長 市も組織である運営委員会の構成メンバーなので、協力

していく。観光案内やまちめぐりツアー受付職員を、緊急雇用創出事業を活用して雇用する。
問 親と子の家庭学習充実を、どのように考えているか。
答 教育長 今年度、各家庭に家庭学習の奨励と啓発のため、リーフレット「那須塩原っ子の家庭学習」を作成配布したほか、学校訪問等を通して指導助言している。
問 学力・発達面での格差拡大が心配の中、今まで以上に家庭教育の充実が必要と思うが、対策と取り組みは。
答 教育長 次代を担う子どもたちの健全育成を目指し、小中学校の保護者を対象とした各種家庭教育講座を実施して、親子の触れ合いの機会や子育てに関する学習の機会の充実に努めている。
問 本市の小中一貫教育について
答 教育長 小中一貫教育は、全市で共通に持つ。塩原のような特定地域の中の併設型の一貫教育と、地域ブロックで大規模校の中学校に大規模小学校が連結する中学校区の連携型と、2通りがある。

5-市政一般質問

市政運営方針

躍進する那須塩原市の将来を期待



眞壁 俊郎 議員

推進が難しい状況にあることだ。本市の持つ地域資源と経営資源を発掘しつつ連携・活用し、事業に取り組んでいく。

平成23年度予算編成

自主財源の確保や行財政改革のプランの実施等により、経費の無駄ムダ・ゼロに取り組んでいると思うが、予算編成に当たりどのような工夫、改善がされたのか。

問 那須塩原市合併7年目を迎え、効果と課題は。

答 市長 人件費の削減、財政運営の安定化など、行財政の効率化や住民サービスの充実、社会生産基盤の整備が図られた。今後も合併時の最大の課題である一体感の醸成を図りつつ、合併してよかったと思えるまちづくりに取り組んでいく。

問 農観商工連携により産業の活性化、市のイメージアップに努めているが、現状と課題は。

答 市長 那須塩原市農観商工連携推進協議会を設立し、地域ブランドの創出、地産地消の推進、付加価値のある新商品開発、販路の開拓・拡大の4つの事業に順次取り組んでいる。課題については、すぐに取り入れられる事業と、調査・研究を進めながら少し時間をかけて取り組む事業があり、同一歩調での連携

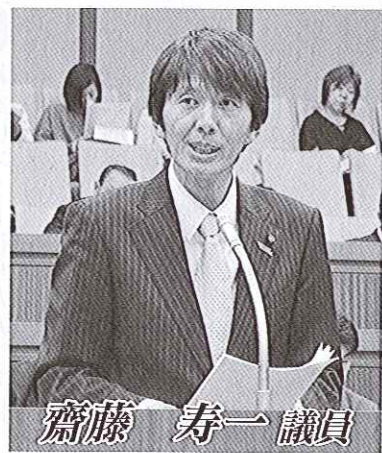
問 総務部長 部の主体的な予算調単位に51の目について枠配分を行った。事務に要する消耗品費については、平成22年度当初予算額から10%の一律カットを行った。さらに、公用車の稼働率調査を実施し、稼働率の少ない公用車を、新規に購入を予定していた部署に配置転換した。

問 新規学卒未就職者就労支援事業について、市として就職先の支援などは考えているのか。

答 総務部長 臨時職員として市の業務に従事している旨を記載した「勤務状況報告書」を提供することを予定している。これは、就職活動の際に履歴書等に添付し資料として活用してもらうよう考えている。なお、登録業者や雇用者に市が就職先をあっせんすることは考えていない。

リストバンドを販売して基金を作り

もみじを植栽して温泉街の観光振興対策に



齋藤 寿一 議員

問 春から秋にかけて観光客を楽しませ、誘客の目玉になっている広葉樹もみじの植栽は、どう取り組まれているのか。

答 産業観光部長 塩原地区では、今年度も塩原観光緑化推進協議会と塩原地区車座談議運営委員会が青葉通り沿いにイロハモミジ35本を植栽し、塩原温泉旅館協同組合と前述の2団体が、日塩もみじライン沿いに20本の植栽を予定している。

問 リストバンド等を作成・販売して、観光客や多くの人から基金を集め、もみじの植栽を充実する取り組みを行っているかどうか。

答 産業観光部長 塩原観光緑化推進協議会は、観光緑化推進の中心的な役割を担っている。リストバンド等の作成・販売による基金設立の取り組みについて提案したい。

市職員の交通安全管理

問 市が所有する公用車の数と、交通事故件数は。職員の交通事故防止対策への取り組みは。

答 総務部長 本年2月現在、作業車まで含めた全市有車は392台で、2月23日現在19件の事故があった。年4回の交通安全運動の実施、全職員対象の安全運転講習会開催など、安全運転の励行を周知徹底している。

小学校の外国語授業

問 小学校における外国語授業の導入による成果と課題等は。

答 教育長 成果は、市内全校を同一内容で指導でき、中学進学時の英語力の差が少なくなった。課題は、専門でない授業を行うこと、教師の不安感や負担感である。

中学校における武道の取り組み

問 平成24年度に必修授業となる、中学校の武道において、導入する種類、時間数、指導員の配置は。

答 教育長 剣道、柔道、相撲の用具等は、実態調査に基づいた整備費を新年度予算に計上した。授業時間数は、各学校の裁量だが、本地区では10時間前後実施する。武道は保健体育の一部なので、指導教員は保健体育の教員である。

黒磯駅前商店街の活性化について

観光客や高齢者が円滑に利用できるまちづくり



櫻田 貴久 議員

ご当地グルメで地域活性化を

問 ご当地グルメに代表される食による地域活性化の考え方は。

答 市長 本市は、多種多様な農産物が生産されており、食にかかわる資源が豊富な地域である。平成22年11月に認定した那須塩原ブランドを利用して、農観商工連携推進事業を通して地域活性化に取り組みたい。

問 黒磯駅前商店街を対象にした活性化事業の考え方は。

答 産業観光部長 黒磯駅前活性化イベントを主体に各種事業を実施している。また、駅前広場整備基本計画の策定にあたり、活性化推進懇談会を定期的に開催し意見交換をしていくことになっている。地域住民と一緒に考えて考え必要な活動について積極的に支援していきたい。

問 黒磯駅前広場整備事業の実施に伴い駅前商店街の将来像をどう考えるのか。

答 市長 新たなまちづくりにおいて道路等の整備は必要不可欠である。黒磯駅前広場整備基本計画を優先的に進めるとともに、駅前及び黒磯地域の皆さんの意見を踏まえ計画を進めたい。

問 B級グルメに対する認識とB-1グランプリに代表されるイベントの経済効果をどう考えるのか。

答 市長 B級グルメは、地域おこしの一環として創作された料理で、安くて気軽に食べられ、地域性が感じられるものと考えられる。イベントは、一時的な経済効果だけでなく、マスクミの取り上げ方やその後の影響も含め大きいものと考えられる。

問 食を通じた地域活性化のための民間との連携、支援策等についての考え方は。

答 市長 食を通じた活性化を図るためには、市民、企業、団体と行政がそれぞれの役割を認識し、連携協同することが大切であると考えている。民と官が一体となって組織している那須塩原市農観商工連携推進協議会を中心に食を通じた地域活性化事業を積極的に推進していきたい。

情報公開・共有の考え方は

地方分権時代の開かれた行政



早乙女順子 議員

問 分権時代にふさわしい開かれた議会となるべく那須塩原市議会では、議会情報の公開が進んでおり、できることは議会みずから積極的に行ってきた。開かれた行政にふさわしい情報公開のあり方、市民との協働には不可欠な情報の共有の考え方についての見解は。

答 企画部長 現在、市民と行政が協働でまちづくりを進めるための基本的な方針となる協働のまちづくり指針を策定しているが、市民とともにまちづくりを進めていくためには共通の認識に立つ必要がある。そのためには情報の共有は欠かせないと考えている。

問 分権改革による機関委任事務制度の全面廃止で自治体が処理する事務に関し原則として議会の権限が及び、地方議会が初めて全面的に住民の代表機関として認められるようになった。そのため議会は、執行機関と同様の情報を持つて監視・牽制・批判機能行使し、行政の軌道を修正しなくてはならない。相互に独立した首長と議会が対等協力の関係の中で抑制し合い、そのバランスの上に行政を運営していくことが求められる中、議会が監視・牽制・批判機能行使するためには何が必要だと理解しているのか。

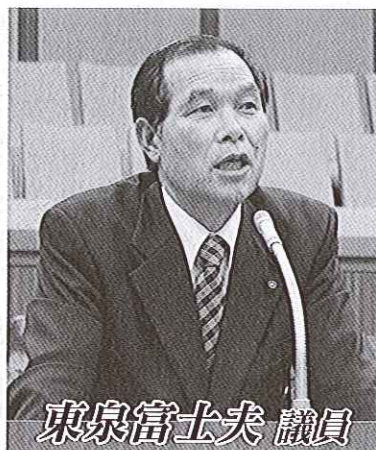
答 企画部長 議会と首長は、ともに住民を代表する対等の機関として相互に抑制し、均衡を図ることが期待されていると理解しており、そのためには今後も情報の共有化に努めていきたいと考えている。

問 執行機関として自治基本条例制定の考えはあるのか。

答 企画部長 自治基本条例は、自治体運営の基本理念や市民と行政の協働のまちづくりに必要な考え方や仕組みづくりなどを定めるものだが、市民参加のあり方や市民と行政の役割分担など、相互の共通理解や十分な合意形成が必要であると考えている。優先すべきは、協働のまちづくりに対する住民意識の熟成であり、その上で、自治基本条例については、調査・研究をしていきたいと考えている。

宅地開発に付随して求められる環境整備

市道三区町142号線の整備について



東泉富士夫 議員

的な整備を行う予定はない。交通に支障がないよう修繕等で対応していきたいと考えている。

危険箇所である丁字路交差点改良

県道折戸西那須野線と市道関谷横林線との丁字路交差点は大変狭く、年々交通量も増加しているため大変危険である。丁字路の交差点改良について市の考えは。

建設部長 本路線は関谷地区と横林地区を結ぶ主要な道路として位置づけをされており、今年度も舗装の修繕を行っている。このような中、交差点に面した地権者から道路用地の協力の話があり、条件等の協議を現在進めている。交差点改良については、用地の問題や水路の問題など関係機関との同意が得られれば検討していきたい。

市道三区町142号線周辺は、年々住宅が増え続け、今後も宅地開発が進むものと考えられるが、道路も狭く下水道も整備されていない。今後の発展を考えると重要な課題であるが市の考えは。

建設部長 本路線は、交通量が少なく、道路整備基本計画の中

でも整備をする位置づけになっていないため、今後も道路の修繕により対応する。また、本路線周辺は、那須塩原市生活排水処理基本構想において、合併処理浄化槽による個別処理の地域となっているため、下水道の整備を行う予定はない。

用地交渉等比較的容易ではないかと考える。先行投資の観点から積極的な整備を行う考えはないのか。

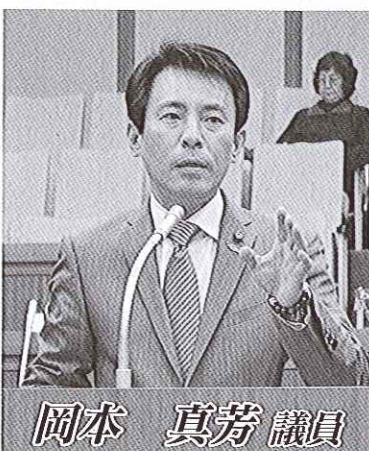
建設部長 本路線の交通量は、あまり多くないことから、積極



県道折戸西那須野線・市道関谷横林線交差点

通学路の安全確保は最重要

市道扇町786号線の整備事業の概要は



岡本 真芳 議員

市道扇町786号線の整備事業の概要と進捗状況、並びに歩行者専用道路等、地域住民からの要望への対応は。

建設部長 この路線はまちづく

り交付金事業として、都市再生整備計画に基づき回遊路地区の一つとして整備するもので、歩道整備事業として実施するものではない。延長115.7m、幅員9mの計画で平成24年度に工事着手する予定である。また、歩行者専用道路等地域住民からの要望については、災害時や学校行事における大型バス等の出入りの利用、市道扇町大夫塚222号線からの自動車の円滑な排除等を考慮して歩行者専用道路ではなく、歩道の幅員を広くすることとした。

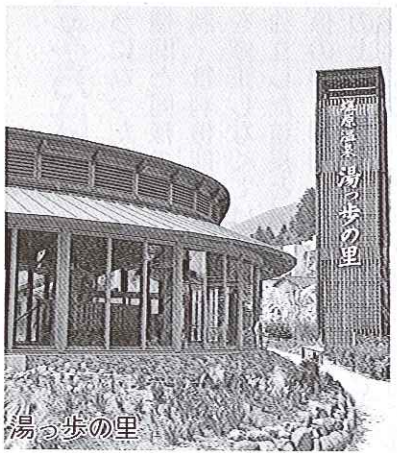
観光行政

湯っ歩の里で行われたイベントの実施状況と情報の配信方法は。

塩原支所長 施設のオープン以降、毎年8月の夏休み期間中に足湯寄席を開催した。平成21年度からは、開催時期を秋の行楽シーズンを過ぎた11月中旬から下旬に変更し、閑散時期の誘客対策として実施している。公共施設、広報、ホームページはもちろんのこと、栃木テレビでの放映、各旅館や各商店でのポスターやチラシによる周知をし、一人でも多くの来場者の獲得を図っている。

塩原温泉の観光産業発展において、湯っ歩の里の今後の運営方針は。

塩原支所長 湯っ歩の里は塩原温泉の観光産業に寄与する重要な施設ととらえている。今後は経費を削減し、民間の活用を図った運営をしていく必要があるため、平成24年度から指定管理者制度を導入する予定としている。



湯っ歩の里

議会を傍聴してみませんか



定例会は**3月・6月・9月・12月**に開催されます。
 次の定例会(6月議会)は、**6月6日(月)開会予定**です。
 詳しい内容はホームページをご覧ください。

➡ <http://www.city.nasushiobara.lg.jp>

3月	2月	1月	議会日誌
<p>4日～23日 平成23年第1回那須塩原市議会定例会</p> <p>4日 産業廃棄物対策協議会【幹事会】</p> <p>10日 議会活性化検討特別委員会</p> <p>16日 会派代表者会議</p> <p>22日 議員全員協議会</p> <p>産業廃棄物対策協議会【全体会】</p> <p>議会活性化検討特別委員会</p>	<p>25日 議会運営委員会</p> <p>23日 山梨県峡北広域行政事務組合議会来訪</p> <p>22日 千葉県君津市議会来訪</p> <p>議会活性化検討特別委員会</p> <p>議員全員協議会</p> <p>17日 産業廃棄物対策協議会【幹事会】</p> <p>15日 神奈川県秦野市議会来訪</p> <p>15日 神奈川県観音寺市議会来訪</p> <p>7日 議会だより編集委員会</p> <p>議会活性化検討特別委員会</p> <p>3日 宮城県気仙沼市議会来訪</p>	<p>23日 産業廃棄物対策協議会【幹事会】</p> <p>17日～19日 福祉教育常任委員会行政視察(沖縄県)</p> <p>18日 長野県北佐久郡御代田町議会来訪</p> <p>20日 産業廃棄物対策協議会【幹事会】</p> <p>議員全員協議会</p> <p>産業廃棄物対策協議会【全体会】</p> <p>議会活性化検討特別委員会</p>	



【編集後記】

陽射しも徐々に強まって、五月節句のこいのぼりも大空に泳ぎ清々しい季節になりました。3月定例会では、人事案件、補正予算、条例案件、会派代表質問、市政一般質問も活発な議論が行われました。

11日の議会中に起きた東日本大震災は、大津波を伴いさらに原発事故を誘発して、大災害は一瞬にして人々の生活と生業の基盤を破壊しました。

那須塩原市では避難者支援本部の設置とあわせて緊急経済対策として、温泉施設宿泊者への総額1億円キャッシュバックキャンペーンの実施や中小企業への大震災緊急支援資金の創設等により対応しています。

議会だよりも編集委員として2年が経過し、よりわかりやすく親しめる紙面づくりに取り組んでまいりました。

次回からは編集委員会のメンバーが変更になります。新たな委員で、よりよい議会情報が伝えられればと思います。

また、議会だよりだけではなく、是非、定例会にも足を運んでいただき傍聴していただければ幸いです。

(若松)

議会だより編集委員会

◎若松	東征	○眞壁	俊郎
鈴木	伸彦	松田	寛人
大野	恭男	伊藤	豊美
高久	好一	平山	啓子

板室温泉こいのぼり

板室温泉街を流れる那珂川に“こいのぼり”が飾られ、元気に泳ぐこいのぼりが、温泉に訪れた観光客の目を楽しませています。

♣ 読みやすく、親しみやすい紙面づくりのために、ぜひご意見をお聞かせください。

♣ 議会だよりに関するお問い合わせ・ご意見は議会事務局まで。

【E-mail】 gikai@city.nasushiobara.lg.jp 【TEL】 0287 (62) 7181